

助け合って 共に歩んだ50年

「第58回金婚夫婦表彰式」(熊本日日新聞社巡回表彰)が9月7日に町文化ホールで行われ、今年めでたく金婚を迎えた37組の夫婦が表彰されました。式は、高見春代さん・大志さん親子(引水)の太鼓と民謡で幕を開け、家入町長が「二人の固い愛の絆を大切に、健康第一でこれからも仲むつまじく頑張ってください」とあいさつしました。代表して築瀬善吾さん・恵美子さん夫婦(大津)に、同社の表彰状と記念品が贈られました。また、町からも代表の江口克彦さん・昭子さん夫婦(大林)に記念品が贈られました。最後に、表彰者を代表して吉永光秋さん・節子さん(杉水)が「なるべくこれからも介護保険に頼らない健康で長生きを心がけていきたい」とお礼を述べられました。



表彰を受ける築瀬善吾さんと恵美子さん



栗松中吉渡齊手片西國田藤西江小横村月築
 崎岡村永邊藤嶋山本岡村本中口林田田尾瀬
 十志安光順辰靖俊英那昭茂克朝有節善
 彦護春秋喜己隆行巧一夫一宣彦治弘徹男吾
 幸明テ節幸ムスキ糸ミと千イ昭登静ヒラ博恵
 美ヨ子子子子子子子子子子子子子子子子子子

37通りの50年がある—金婚夫婦37組

武河古山下山源春白本園橋松平坂松藤中堤
 田野庄村中徳川日袿美次昭誼亀久健孝健悌國信英
 幸昭一綱勲美次昭誼亀久健孝健悌國信英
 嘉スツ豊美智タ和セチち民モリ泰ヒロス竹マヤ
 代ズ子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子



金婚おめでとうございます

第58回金婚夫婦表彰式

少しずつ元気に！明るく盛り上げ隊！

大津がんばるマルシェ！～朝市&フリマ～

大津がんばるマルシェが9月11日にオクス駐車場で開催されました。

昨年まで朝市として行っていたものを平成28年熊本地震後にパワーアップさせ、町の復興のために、肥後おおづ観光協会や地域おこし協力隊が協力し、隔月で開催しています。新鮮な食材やグルメの他にスタンプラリーもあり、楽しく買い物する姿や家族で来場する姿が見られました。



マルシェには子どもたちが喜ぶ仕掛けがいっぱい
オハナシマンも登場！

連携を強くするために

錦野・迫井手・大菊土地改良区合併予備契約調印式

錦野・迫井手・大菊の土地改良区は、8月31日に大菊土地改良区(陣内)で12月の合併に向けた予備契約を交わしました。合併後の新しい名称は「おおきく土地改良区」を予定しています。大菊土地改良区後藤副理事長から「熊本地震によって周辺地域も大きな被害を受けた中で皆さんの努力のおかげで合併予備契約調印式を迎えることができました。12月の合併にむけて、頑張りましょう」とあいさつがありました。



前列左から迫井手土地改良区緒方理事長、大菊土地改良区家入理事長、後藤副理事長、錦野改良区栗木理事長

多年にわたる功績に敬意を表して

第52回献血運動推進大会で銀色有功章

東京都で7月7日に行われた「第52回献血運動推進全国大会」で富士精工株式会社熊本工場(室)が、15年以上継続的に献血に協力し、献血の推進活動に功労した団体として、銀色有功章を授与されました。盾授与式は9月21日に同社において行われました。同社は、昭和61年から社員を対象とした献血協力をし、年に2回献血の機会を継続的に設けています。土肥雄一工場長は、「自発的に何事も取り組む環境づくりができている」と話していました。



熊本県赤十字血液センターと大津町から授与された盾を持つ
土肥雄一工場長(左)と本郷邦之住民福祉部長(右)

献血へのご協力をお願いします

病気やけがの治療のため、国内では毎日約3,000人もの患者が輸血を受けています。

しかし、輸血に必要な血液製剤は人工的に造れず、長期間の保存もできないため、年間を通じた継続的な献血へのご協力が不可欠です。さらに少子高齢化の影響や若い世代の献血者が減少傾向にあり、将来、献血者約85万人分の血液が不足するおそれがあるといわれています。献血は身近にあるボランティアです。これからも多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。



授与式当日に実施されていた献血でも、従業員約150名のうち半数以上が積極的に献血に取り組んでいました